論文概要の和文様式

雑誌におけるタイトル：

Cumulative inactivated vaccine exposure and allergy development among children: a birth cohort from Japan

和文タイトル：

JECSに参加している小児における初回予防接種の種類とアレルギー疾患の関連について

ユニットセンター（UC）等名：　メディカルサポートセンター

サブユニットセンター（SUC）名：

発表雑誌名：　Environmental Health and Preventive Medicine

年：2020　月：7　巻：25　頁：27

筆頭著者名：　山本貴和子

所属UC名：　メディカルサポートセンター

目的：

初回の不活化ワクチン投与と1歳時のアレルギー疾患・症状との関連を検討する。

方法：

エコチル調査に参加している妊婦とその子供を対象とし、予防接種歴については6か月質問票で把握し、アレルギー疾患の既往については、1歳質問票で評価し、交絡因子を調整して統計解析を行い関連について検討を行った。

結果：

1歳時の喘息は、初回に3種類の不活化ワクチン投与と関連があり(aOR 1.395, 95% CI 1.028-1.893)、喘鳴は、3種類の不活化ワクチン投与と関連があった(aOR 1.238, 95% CI 1.094-1.401)。湿疹は、4-5種類の不活化ワクチン投与と関連があった(aOR 1.144, 95% CI 1.007-1.299)。

考察：（研究の限界を含める）

様々な予防接種を同時に投与することにより特定のサイトカイン産生が増加する報告があり、予防接種の種類が多いことによりアレルギーを増強する免疫誘導を引き起こす可能性がある。また、不活化ワクチンにはアジュバントが入っているものがほどんどたのめ、アジュバントの量が増えることによりアレルギー反応を増強する可能性がある。

結論：

本研究は探索的観察研究であり、結論をだすことはできない。ワクチンをきちんと接種することで子供たちやその周りの人たちを感染症から守る必要がある。